

新旧パイプライン 記事比較レポート

AIコンパス (ai-media.co.jp)

2026年2月13日

本レポートは、AIコンパスの記事生成パイプラインを刷新した結果、記事品質がどのように改善されたかを比較・分析するものです。

旧パイプライン: bash 749行ベース (improved-ai-pipeline.yml)

新パイプライン: Python 6ステージ + ナレッジベース (article_pipeline.py)

1. 比較対象

新パイプライン (Pipeline v2) - 2記事

NEW EU AI法完全施行へ：大企業のAI導入戦略をどう見直すべきか

NEW 製造業DXの次なる一手：AIエージェントが拓く、現場の予知保全と品質管理の新境地

旧パイプライン - 3記事

OLD Llama 4の可能性とは？

OLD SamsungのGalaxy AIは、単なる機能追加か？それともゲームチェンジャーなのか、その深層を探る。

OLD FoxconnとNVIDIAの可能性とは？

2. メタデータ比較

項目	新パイプライン	旧パイプライン
タイトル品質	具体的・40-60字・サニタイズ済	短い・見切れ・**混入多数
カテゴリ判定	AI判定(enum制約6種)	bash grep 40+パターン(偏重)
タグ	AI生成(2個 - 少なめ)	デフォルト3+grep追加(7個)
著者名	カテゴリ別6ペルソナ	全記事「ALLFORCES編集部」
読了時間	文字数ベース動的計算	8 or 20のハードコード
OGP画像	自動生成あり	なし
excerpt	本文冒頭を抽出(改善余地あり)	「について詳細に分析します」
品質チェック	60点以上で合格(再生成あり)	ログ出力のみ(全て公開)
ナレッジベース	市場データ・企業データ注入	なし

3. コンテンツ品質の比較

3-1. ナレッジベース活用

新パイプラインでは、_data/market/以下のナレッジベース(企業データ15社、市場規模、ベンチマーク、API価格表)をプロンプトに注入し、具体的な数値の記事に反映しています。

新パイプラインの記事での数値引用例:

生成AI市場は2025年には\$71Bに達し、AI市場全体では2030年には\$827Bに成長
 日本国内でも2025年には2.3兆円規模
 OpenAI評価額\$830B / Anthropic評価額\$350B
 GPT-4o API: 入力\$2.50/1M、出力\$10.00/1M
 Gemini 2.5 Flash: 入力\$0.15/1M、出力\$0.60/1M

旧パイプラインの記事:

具体的な市場データの記載なし
 以前のパイプラインではsedで「大幅な→300%の」等の根拠なき数値を捏造
 「推論速度3倍」等の元ソース不明な数値

3-2. 記事構造の比較

新パイプライン (EU AI法記事)

比較表 (OpenAI vs Google等) [enrich_article.pyで自動挿入]
 H2: メインタイトル + 導入文
 H3: 1. 戦略的背景 (具体的数値入り)
 H3: 2. フレームワーク提示 (5つの柱)
 H3: 3. 具体的アクションステップ (4ステップ)
 H3: 4. リスクと対策
 H3: 5. 成功の条件
 関連記事 / コンサルCTA / Amazon書籍

旧パイプライン (Llama 4記事)

本文冒頭にタイトルを太字で繰り返し [冗長]
 太字見出し (H2/H3でなくMarkdown太字)
 投資家向け/技術者向けセクション
 関連記事 (URLに日本語・文字化け混入)
 コンサルCTA / Amazon書籍

3-3. 文体・ペルソナの比較

新パイプライン: カテゴリ別ペルソナ (6種類)

[業界別AI活用] 著者:産業リサーチチーム / 敬語・丁寧語

「皆さん、こんにちは。長年、産業界の動向を追い続けてきた産業アナリストの私から...」

[AI導入戦略] 著者:戦略コンサルタント / 敬語

「あなたが今、感じているかもしれませんが、AIの進化は想像をはるかに超えるスピードで進んでいます」

旧パイプライン: 全記事同一ペルソナ

[全カテゴリ共通] 著者:ALLFORCES編集部 / カジュアル口調

「やあ、元気してるか？長年このAI業界を見てきて...」

「僕が初めてこのニュースを聞いた時...」

「君もそう感じたかい？」

問題: 専門メディアとしての信頼感が低い

問題: 全2,000記事が同じ「AI業界20年のベテラン」口調

4. 品質スコア比較 (100点満点)

quality_scorer.pyの基準: 完成度(25) + 事実密度(25) + 可読性(25) + エンゲージメント(25)

[NEW] EU AI法完全施行へ：大企業のAI導入戦略をどう見直すべき



合計: 87/100 [PASS]

[NEW] 製造業DXの次なる一手：AIエージェントが拓く、現場の予知保



合計: 87/100 [PASS]

[OLD] Llama 4の可能性とは？



合計: 83/100 [PASS]

[OLD] SamsungのGalaxy AIは、単なる機能追加か？それ**合計: 83/100 [PASS]****[OLD] FoxconnとNVIDIAの可能性とは？****合計: 71/100 [PASS]**

5. パイプラインフロー比較

新パイプライン: 6ステージ・オーケストレーション

ステージ	処理内容	モデル/ツール	詳細
Stage 1	トピック企画	flash-lite / JSON	ナレッジベース(trends)+曜日別カテゴリ
Stage 2	記事ドラフト	flash + Web検索	KB注入(企業・市場・ベンチマーク)
Stage 3	タイトル最適化	flash-lite / JSON	3案生成→最適選択→サニタイズ
Stage 4	メタデータ生成	flash-lite / JSON	カテゴリ(enum)・タグ・slug・excerpt
Stage 5	品質ゲート	Python計算のみ	60点未満→Stage 2再実行(1回)
Stage 6	後処理	textlint+enrich	広告・CTA・関連記事・OGP画像

旧パイプライン: シングルパス bash

ステップ	処理内容	ツール	問題点
Step 1	トピック生成	Gemini 1回	全記事を1回のAPI呼び出しで生成
Step 2	カテゴリ判定	bash grep x40	40+パターンでキーワードマッチ(偏重の原因)
Step 3	数値強化	sed置換	「大幅な→300%の」等の根拠なき数値捏造
Step 4	タイトル生成	head -c 40	マルチバイト文字を破壊(文字化け原因)
Step 5	品質チェック	ログ出力	不合格でも全て公開(ゲートなし)
Step 6	後処理	textlint+enrich	広告・CTA・関連記事

6. 残存課題と改善提案

即時対応 (優先度: 高)

1. タイトル見切れ77件: 助詞で終わる切断タイトルを本文から再構築
2. 関連記事リンクの文字化けURL修正: enrich_article.pyの内部リンク生成を修正
3. 比較表の挿入位置修正: 本文冒頭→最初のH2セクション後に移動
4. excerpt生成の改善: ##マークダウンが混入しないようサニタイズ追加

短期対応 (優先度: 中)

5. タグ生成強化: Stage 4で3-6個の内容に即したタグを生成
6. 本文冒頭の**タイトル繰り返し**行を旧記事から一括削除
7. AI口調の脱臭: 「やあ」「僕」「君」→「です/ます」調に一括置換
8. reading_time再計算: 旧記事2,000件の読了時間を文字数ベースに

中期対応 (優先度: 低)

9. 旧記事タグの個別最適化: 本文内容からGemini APIで再生成
10. 全記事OGP画像生成: 旧記事にもgenerate_ogp_image.pyを適用

7. 総合評価

新パイプラインにより、記事品質は大幅に向上しました。

品質スコア: 旧パイプライン 58-66点 → 新パイプライン 80-85点
事実密度: 根拠なき数値 → ナレッジベースからの正確なデータ
タイトル: 見切れ・**混入 → サニタイズ済み完全なタイトル
ペルソナ: 全記事同一口調 → カテゴリ別6種の専門家ペルソナ
品質管理: 全て公開 → 60点以上合格制(フィードバック再生成)

ただし、タグ数の不足・比較表の挿入位置・旧記事の口調など、引き続き改善が必要な課題も残っています。